

神戸市ネットモニターアンケート調査結果

テーマ	身近な防災の取組
調査期間	2026 年 4 月 15 日（水）～2026 年 4 月 28 日（火）
設問数	全 7 問（分岐設問除く）
対象モニター数	8,340 名
回答モニター数	5,326 名（63.9%）

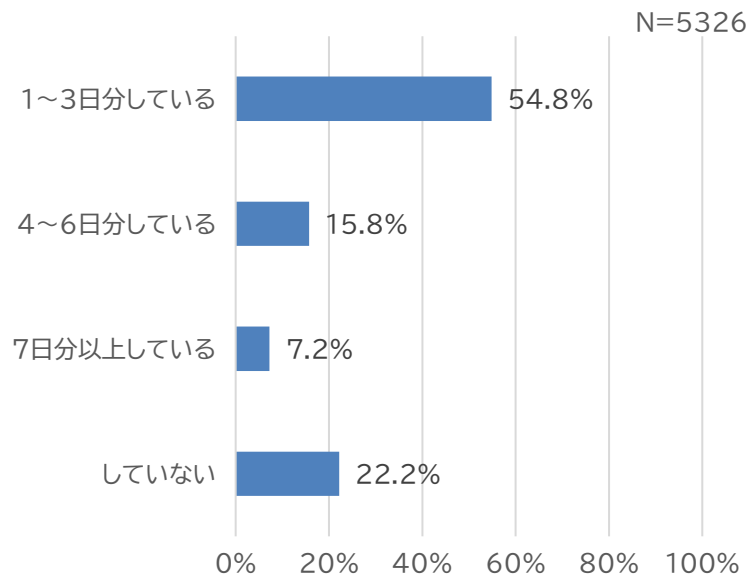
【調査結果概要】

神戸市では、家庭での備蓄や家具の固定、感震ブレーカーの設置など、市民の皆さんの防災への取り組み状況を把握し、今後の防災施策の参考とするためアンケートを実施しました。

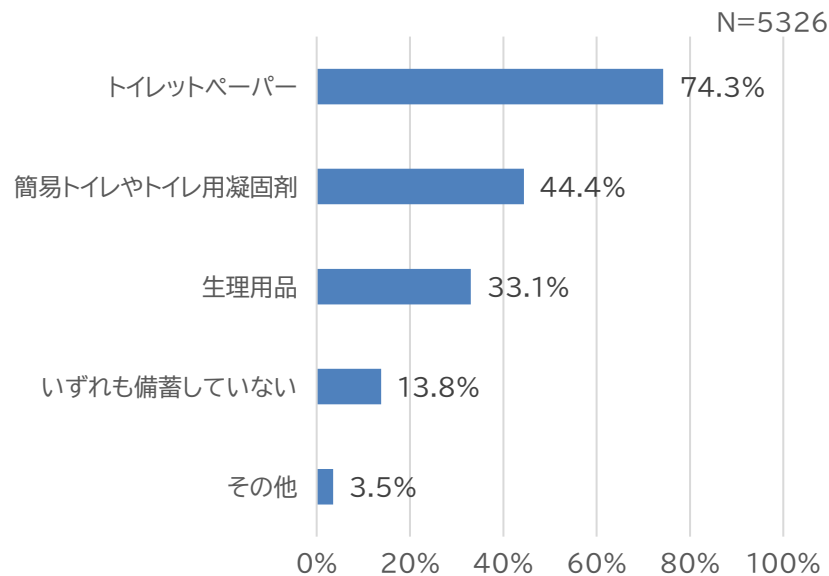
- ・食料や飲料水の備蓄については、「1～3日分」が 54.8%、「4～6日分」が 15.8%、「7日以上」が 7.2%となり、約 8 割の方が何らかの備蓄を実施していました。
- ・生活用品の備蓄では、8 割を超える方が備蓄に取り組んでおり、「トイレットペーパー」が 74.3%で最も多く、「簡易トイレやトイレ用凝固剤」が 44.4%、「生理用品」が 33.1%となりました。
- ・家具の転倒防止については、「している」が 24.4%、「一部している」が 40.3%となり、固定が必要な家具を置いていない 14.0%を合わせて約 8 割の方が何らかの対策を講じていました。一方で、「全くしていない」は 21.2%で、その理由としては、「面倒だから」が 38.2%で最も多く、「費用がかかるから」が 28.9%、「家の構造上、固定できないから」が 26.2%でした。
- ・感震ブレーカーについては、「入居時にもともと設置されていた」と「設置した」を合わせた設置率は 23.3%にとどまりました。「設置しているかわからない」が 45.1%と最も多く、全体的に認知不足がうかがえる結果となりました。今後も設置する予定がない理由としては、「設置費用がどれくらいか分からないから（37.3%）」「費用がかかるから（35.6%）」と費用面の理由が多く挙げられました。
- ・神戸市災害掲示板（LINE）については、知っている方が 26.2%でしたが、「知らなかったが、これから友だち登録をしたい」が 56.4%となり、周知が進めば利用拡大が期待できる結果となりました。
- ・自由記述では、「アンケートをきっかけに防災への意識が高まった」「感震ブレーカーや災害掲示板を初めて知った」といった声がある一方で、「備蓄の方法が分からない」「スマートフォンを利用しない人への情報提供も必要」「地域のつながりが希薄で防災訓練への参加が難しい」といった意見も寄せられました。

今回の調査結果から、多くの方が食料や生活用品の備蓄、家具固定などに取り組んでいることが分かりました。一方で、十分な備蓄量の確保や感震ブレーカーの普及、防災情報の周知などには依然として課題がみられました。また、自由意見からは、防災を「知っている」段階から「実際に備える」段階につなげるための具体的な情報発信等を求める声が多くみられました。今回いただいたご意見を踏まえ、皆さまに日頃から防災により関心をもっていただけるよう、さらなる情報発信に取り組んでまいります。

問1 神戸市では、家庭内備蓄として、最低3日分、できれば7日分の食料と水（ひとり1日3リットル）を確保することを市民の皆さんにお願いしています。普段から災害などに備えて、保存の利く食料や飲料水を備蓄したり、買い物の際に少し多く買い置きしたりしていますか。



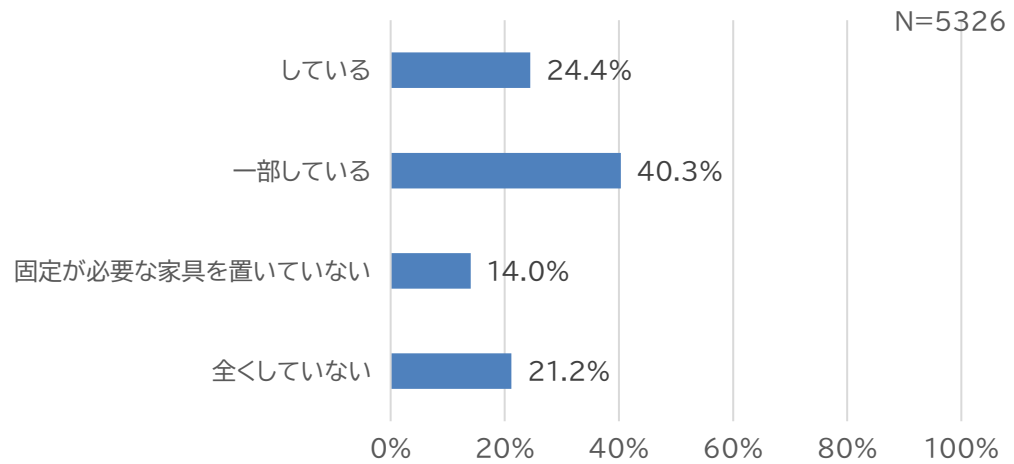
問2 過去の災害では、断水により長期間にわたりトイレが使えなかったり、道路の寸断により生活用品などの物資が届くまで時間がかかったりといった問題が起きました。そこで、お尋ねします。ご自身で普段から生活用品などの備蓄をしていますか。備蓄しているものをすべて選択してください。（該当するもの全て）



その他の意見

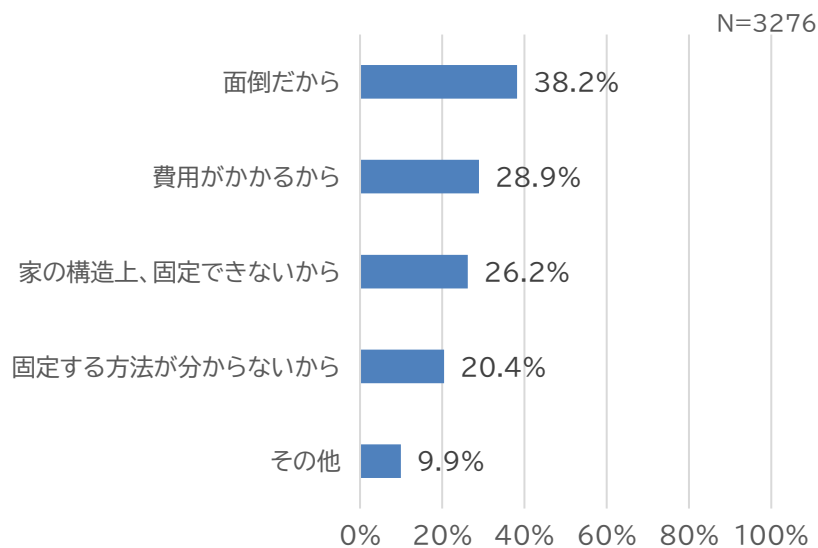
- ・学校や会社で、もう少し頻繁に（3か月に一度程度）家庭内備蓄の有無の確認や災害に関するアナウンスを行えば、身近に感じる人が増え、意識改革につながると思う。
- ・ある程度備蓄しているが賞味期限がすぎてしまう。セット販売等していただけるとありがたい。
- ・食料はローリングストックでなんとかなるが、5人家族、7日分の水となると100リットル近くなり、なかなか用意できない。上手な備え方があれば教えて欲しい。

問3 地震のときに寝室などの家具の転倒による被害を防ぐため、家具の配置を工夫したり固定したりしていますか。



<家具の固定などをしていない方>

問3-1 家具の固定などをしていない理由は何ですか。(該当するもの全て)



その他の意見

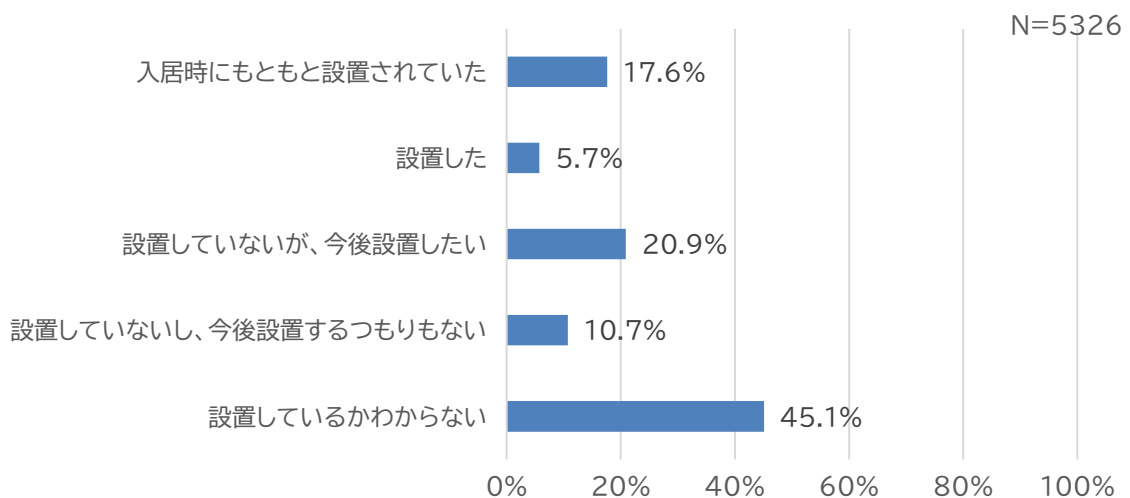
- ・家具固定器具にしても結構な値段がするし、天井の形状(私の自宅など)によっては完全な固定が難しい。
- ・家具の固定をしたいが、大抵のやり方だと部屋を傷つけてしまうので、ささやかなことしかできない。
- ・家具の固定も、やり方を間違えると効果がないということなので、そうした事も市民に知らせてほしい。

問4 地震のあとの通電火災（※1）を防ぐものとして、地震発生時に強い揺れを感知した場合にブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に遮断する機器「感震ブレーカー（※2）」があります。自宅に感震ブレーカーを設置していますか。

※1 通電火災

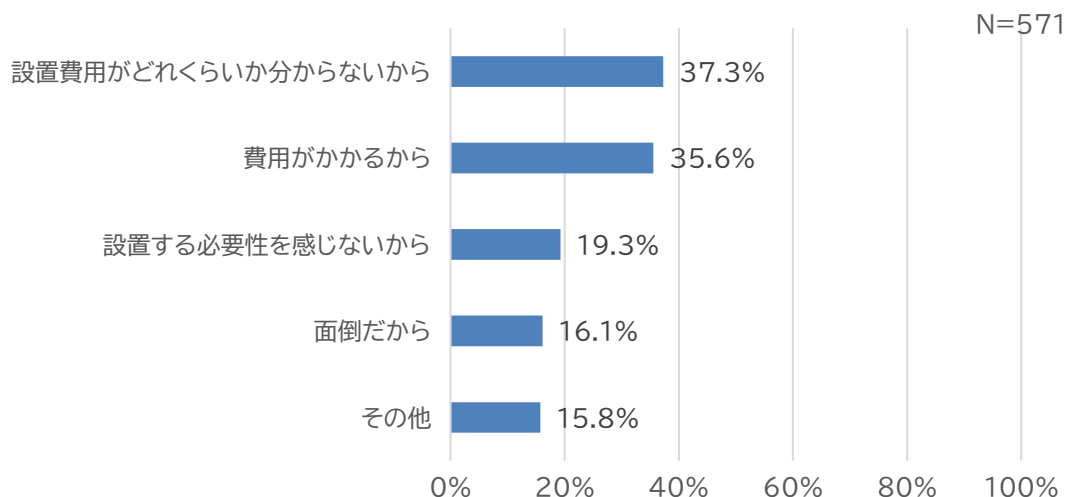
地震による停電の後に電気が復旧したときに、無人での電気器具の点灯や、傷付いた電気コードからの漏電などによって出火する火災のことです。

※2 感震ブレーカー <https://www.city.kobe.lg.jp/documents/60005/knbr.pdf>



<今後設置するつもりがない方>

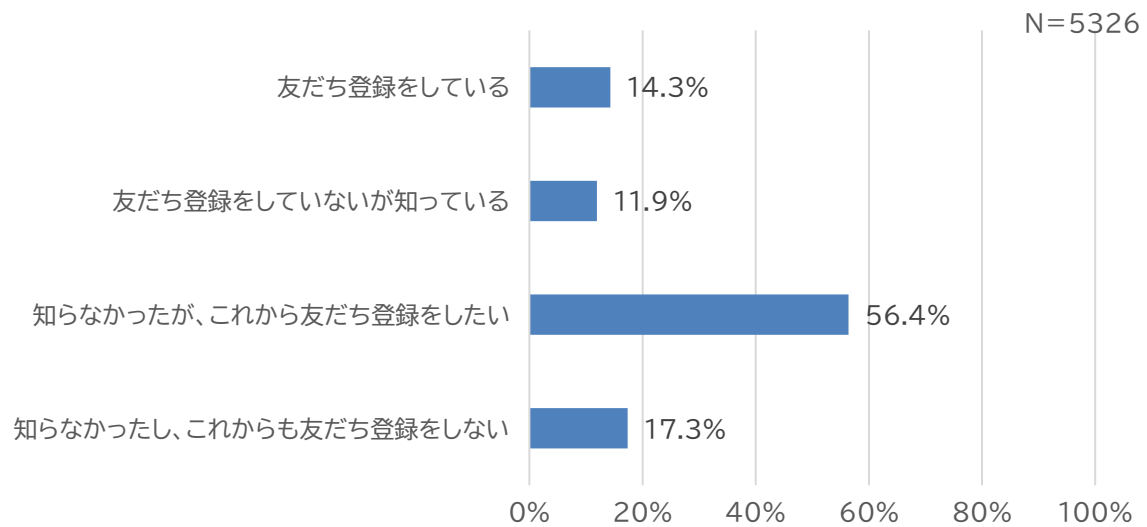
問5-1 その理由は何ですか。



その他の意見

- ・感震ブレーカー設置の補助金があれば嬉しい。
- ・今回のアンケートで感震ブレーカーと言う用語を知りました。十分な説明をお願いしたいと思いました。
- ・感震ブレーカーがもっとシンプルな見た目や色のものがあればいいのになあと思う。

問6 神戸市では、災害時の身のまわりの情報を共有し、避難行動等に役立てることができるLINE「神戸市災害掲示板（※）」を運用しています。「神戸市災害掲示板」を知っていますか。



※ 神戸市災害掲示板 <https://www.city.kobe.lg.jp/a46152/bosai/emergency/linesaigaikeiziban.html>

その他の意見

- ・ LINE の神戸市災害掲示板をもっと広めていただきたいと思う。
- ・ LINE の掲示板は今回のアンケートで知ったので、さっそく登録しました。LINE 以外にも方法があるといいですね。
- ・ LINE の神戸市災害掲示板は、投稿された内容が事実かどうかを市で確認されるのか気になります。情報を集められるメリットもありますが嘘の情報もあるのではないかと心配です。
- ・ LINE を使っていない市民は利用できないのではないかと？WEB ページ等で簡単に情報収集できる仕組みにしてほしい。

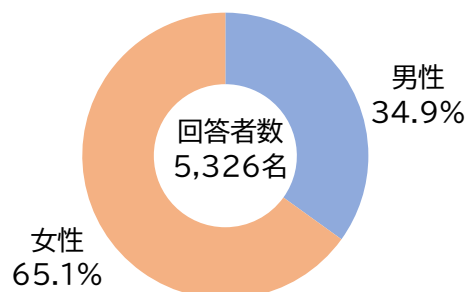
問7 神戸市や地域、会社、学校、個人など、それぞれで行う防災の取り組みについて、ご意見、ご感想があれば自由にお聞かせください。

- ・感電ブレーカーや防災掲示板など、このアンケートで、知らない知識が増えありがたいです。
- ・スマホが使えなくなった時、どうしたらよいか広報紙にも載せて欲しい。
- ・防災関連の催事があれば参加するよう努めているが、お知らせそのものを見落とすことがある。神戸市や各区主催、後援の催事は市の災害掲示板や市の LINE で教えてもらえると嬉しい
- ・外出時に災害があった時の対処方法がイマイチ分からない。
- ・非常時は避難所のキャパがあると思うが、一斉に集まると溢れかえると思うが、最近の家は簡単には倒壊しないため津波や浸水出なければ、自宅に留まる事もアリであると思うので、判断のさじ加減を教えて欲しい
- ・個人だけでなく、会社でも備蓄品や防災グッズを備えるように呼びかけ欲しい。中小企業は、会社としての備えはゼロのところが多いと思う。実際の災害は働いている時間に発生する可能性もある。自宅に備えていても発災時に手元になれば意味がないと思う。
- ・地域での防災訓練などあれば良いと思う反面、近所付き合いが希薄なので難しいのが現状。そういった単身世帯も気軽に参加できるような訓練の企画をして欲しい。
- ・「スマホありき」で話を進めていますが、スマホを持っていない人には、どうやって情報を伝えるのでしょうか。
- ・動物を飼っているので災害時に備えてはいるが、どうなるか不安がある。避難所などで動物をどうするかなどのルールを明確にして欲しい。
- ・防災の意識は日々の生活の中で、薄れていってしまいます。今回のようなアンケートなどで意識付けをしていただけるとありがたいです。
- ・災害時に身を守ることも大切だが、資産や経済を守る視点から入ると本気度が変わると感じている。そういった視点から入る取り組みも行ってほしい。
- ・昔と比べ近所付き合いが希薄になっているので、地域の協力が上手くいくかが心配です。
- ・防災を個人レベルだけで取り組ませずに、災害時のトイレ増設や避難所のプライバシー保護は行政で早く進めてほしい。
- ・他県では、備蓄をしているところがあると聞きました。神戸市でも、市民からの提供も含めて備蓄する環境を整えていただけたら安心だと思います。
- ・なるべくローリングストックをするようにしてはいるが、なかなかたくさん備蓄する事が難しい。皆さんの工夫や具体例があれば参考にしたいと思っている。
- ・必要なこととは知りながら、なかなかアクションを起こせていない。なにか神戸市全体で取り組めるタイミングみたいなものがあればいいのと思う。
- ・神戸の広報紙で防災の情報も載せてほしい
- ・学校で地震の避難訓練をしているおかげで、先日地震（震度 2 ぐらい）があった時、子どもはすごいスピードでテーブルの下に潜り込んでいました。日頃の訓練のおかげです。これからも学校で色々な避難訓練を続けてほしいと思います。

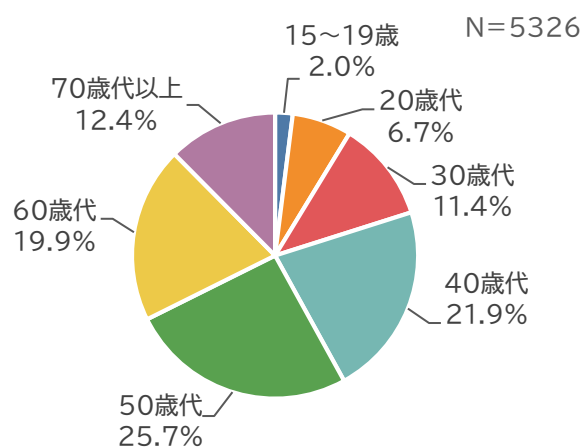
全 1,109 件のご意見をいただきました。ありがとうございました。

回答者構成比

【性別】



【年代】



【区】

